

積算基準	土木
現場中間検査	要
工場等派遣中間検査	不要
樹木保険加入	要

工 事 設 計 書

事業年度	令和 7年度			
設計年月	令和 年 月			
予算科目	款	項	目	節
工事場所	京都市南区久世殿城町地内			
路線名又は河川名等				
工事名	向日町上鳥羽線他道路整備（その1）工事			
工期	契約日の翌日から令和 9年 3月15日まで			
事業課（所）名	道路建設課	単価使用年月	令和 年 月	
工事番号		歩掛適用年月	令和 年 月	
変更回数		基準適用年月	令和 年 月	
主工種		単価地区		
前払金支出		調整区分		

京都市 建設局

チェック欄	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

工事概要

工事延長				m	231
道路土工	式	1	排水構造物工	式	1
舗装工	式	1	ポンプ設備据付工	箇所	3
電線共同溝工	式	1	道路附属施設工	式	1

施工理由

本工事は、都市計画道路3・3・132向日町上鳥羽線及び3・5・183牛ヶ瀬馬場線を整備することにより、道路網を形成し、安全で円滑な道路交通の確保を図るものである。

		設計額		請負額	
		金額	増減額	金額	増減額
工	事	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
内	工事価格	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
訳	消費税相当額	前回	円	円	円
		今回	円	円	円
支	給品費	前回	円	円	円
		今回	円	円	円

京都市 建設局

積算参考資料（間接費補正一覧）

単価使用年月	2025年4月	
歩掛適用年月	2025年4月	
基準適用年月	2025年4月	
単価地区	2601: I地区	
調整区分	本附帯工事	
現場環境改善費（率計上）		
市街地補正	市街地	
共通仮設費（率計上）		
主たる工種	04:道路改良工事	
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－3	1.2
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	4週8休以上(通期)	1.02
現場管理費		
施工地域等補正	市街地（DID補正）（1）－3	1.1
I C T 施工補正	補正なし	1.0
週休2日補正	4週8休以上(通期)	1.03
一般管理費		
前払金支出割合による補正	補正を行わない	1.00
財団法人等による補正	補正を行わない	1.00
契約保証に係る補正率	金銭的保証	0.04%

見積参考資料

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※見積等項目名が空欄の場合、細別のすべてを含む単価を示しています。見積等項目名を記載している場合は、細別のうち見積を採用した部分の単価を示しています。

工種	種別	細別	規格・条件	見積等項目名	単位	単価(円)	施工費(諸雑費込)等の区分	備考
道路土工	残土処理工	残土等処分			m3	4,000	処分費	管理費区分：T
排水構造物工	側溝工	自由勾配側溝土留	側溝規格：B300×H1000	自由勾配側溝(土留、B300×H1000)	個	106,430	材料費	1,160kg/個、2.0m/個
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	コンクリート蓋(歩道用、300用、L=0.5m)	コンクリート蓋(歩道用、300用、L=0.5m)	枚	2,650	材料費	30kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	コンクリート蓋(歩道用、400用、L=0.5m)	コンクリート蓋(歩道用、400用、L=0.5m)	枚	3,780	材料費	43kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	コンクリート蓋(歩道用、400用、L=0.5m)	コンクリート蓋(歩道用、400用、L=0.5m)	枚	5,020	材料費	55kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	コンクリート蓋(歩道用、600用、L=0.5m)	コンクリート蓋(歩道用、600用、L=0.5m)	枚	6,380	材料費	72kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-2、細目、300用、L=0.5m)	グレーチング蓋(T-2、細目、300用、L=0.5m)	枚	18,170	材料費	15kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-2、細目、400用、L=0.5m)	グレーチング蓋(T-2、細目、400用、L=0.5m)	枚	22,050	材料費	18kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-2、細目、500用、L=0.5m)	グレーチング蓋(T-2、細目、500用、L=0.5m)	枚	27,970	材料費	22kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-2、細目、600用、L=0.5m)	グレーチング蓋(T-2、細目、600用、L=0.5m)	枚	40,330	材料費	30kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-25、細目、300用、L=0.5m)	グレーチング蓋(T-25、細目、300用、L=0.5m)	枚	22,050	材料費	19kg/枚
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋(T-25、普通目、300用、L=1.0m、ボルト固定)	グレーチング蓋(T-25、普通目、300用、L=1.0m、ボルト固定)	枚	32,350	材料費	35kg/枚

見積参考資料

積算で採用した見積等の単価は下表のとおりです。

※見積等項目名が空欄の場合、細別のすべてを含む単価を示しています。見積等項目名を記載している場合は、細別のうち見積を採用した部分の単価を示しています。

工種	種別	細別	規格・条件	見積等項目名	単位	単価(円)	施工費（諸雑費込）等の区分	備考
排水構造物工	側溝工	側溝蓋	グレーチング蓋（T-25、普通目、500用、L=1.0m、ボルト固定）	グレーチング蓋（T-25、普通目、500用、L=1.0m、ボルト固定）	枚	64,500	材料費	68kg/枚
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B300×L300×H1000、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B300×L300×H1000）	基	109,400	材料費	272kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B300×L300×H1000、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）	枚	17,020	材料費	
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B300×L300×H1100、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B300×L300×H1100）	基	116,770	材料費	290kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B300×L300×H1200、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B300×L300×H1200）	基	154,450	材料費	367kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B400×L400×H1100、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B400×L400×H1100）	基	151,070	材料費	370kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B400×L400×H1100、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）	枚	30,450	材料費	
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B400×L400×H1200、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B400×L400×H1200）	基	159,870	材料費	392kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B500×L500×H1000、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	プレキャスト集水枳（B500×L500×H1000）	基	207,130	材料費	472kg/基
排水構造物工	集水枳・マンホール工	プレキャスト集水枳	枳規格：B500×L500×H1000、グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）含む	グレーチング（T-25、細目、ボルト固定）	枚	46,570	材料費	
排水構造物工	集水枳・マンホール工	蓋	蓋種類：グレーチング蓋（T-25、細目、ボルト固定、700×700用）	グレーチング蓋（T-25、細目、ボルト固定、700×700用）	枚	129,100	材料費	110kg/枚
排水構造物工	集水枳・マンホール工	蓋	蓋種類：グレーチング蓋（T-25、細目、ボルト固定、700×800用）	グレーチング蓋（T-25、細目、ボルト固定、700×800用）	枚	161,310	材料費	123kg/枚

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路改良 (A)		式	1				
道路土工		式	1				
掘削工		式	1				
掘削	土質:土砂,施工方法:ホフソカット,押土:無し,障害: 無し,施工数量:5,000m3未満	m3	1,100				
路体盛土工		式	1				
路体(築堤)盛土 流用土	施工幅員:4.0m以上	m3	50				
路床盛土工		式	1				
路床盛土 購入土 (RC-30)	施工幅員:4.0m以上	m3	710				L/C=1.33
残土処理工		式	1				
土砂等運搬	土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	1,190				
残土等処分		m3	1,190				
地盤改良工		式	1				
路床安定処理工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
安定処理	混合深さ:0.6m以下, 固化材100m2あたり使用量:9t/100m2, 固化材の種類:セメント系固化材	m2	2,630				(概)
排水構造物工		式	1				
作業土工		式	1				
床掘り 小規模 (参考数量)	土質:土砂	m3	90				
床掘り 平均施工幅1m以上2m未満 (参考数量)	土質:土砂	m3	590				
埋戻し 最大埋戻幅1m未満 (参考数量)	土質:土砂	m3	320				
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満 (参考数量)	土質:土砂	m3	140				
側溝工		式	1				
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B300×H300	m	5				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B300×H600	m	10				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B300×H700	m	76				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B300×H900	m	17				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B300×H1000	m	41				インバートコンクリートは別計上

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
自由勾配側溝 土留	側溝規格:B300×H1000	m	17				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 横断用	側溝規格:B300×H400	m	5				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B400×H900	m	26				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B400×H1000	m	42				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B400×H1100	m	13				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B500×H700	m	34				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 横断用	側溝規格:B500×H700	m	5				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B600×H700	m	66				インバートコンクリートは別計上
自由勾配側溝 縦断用	側溝規格:B600×H800	m	7				インバートコンクリートは別計上
側溝蓋	コンクリート蓋 (車道用、300用、L=0.5m)	枚	65				
側溝蓋	コンクリート蓋 (車道用、400用、L=0.5m)	枚	45				
側溝蓋	コンクリート蓋 (車道用、500用、L=0.5m)	枚	4				
側溝蓋	コンクリート蓋 (歩道用、300用、L=0.5m)	枚	63				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
側溝蓋	コンクリート蓋 (歩道用、400用、L=0.5m)	枚	17				
側溝蓋	コンクリート蓋 (歩道用、500用、L=0.5m)	枚	22				
側溝蓋	コンクリート蓋 (歩道用、600用、L=0.5m)	枚	57				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-2、細目、300用、L=0.5m)	枚	36				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-2、細目、400用、L=0.5m)	枚	19				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-2、細目、500用、L=0.5m)	枚	8				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-2、細目、600用、L=0.5m)	枚	16				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-25、細目、300用、L=0.5m)	枚	2				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-25、普通目、300用、L=1.0m、ボルト固定)	枚	3				
側溝蓋	グレーチング蓋 (T-25、普通目、500用、L=1.0m、ボルト固定)	枚	2				
インバートコンクリート	小型構造物、人力打設、18-8-40BB、一般養生、現場内小運搬無	m ³	15				
街渠板 (I型) 一般部①、段差部②、切下げ部③	小型構造物、人力打設、一般養生、現場内小運搬無、一般型枠	m	294				
街渠板 (I型) 段差部④	小型構造物、人力打設、一般養生、現場内小運搬無、一般型枠	m	7				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
街渠板 (I型) 切下げ部⑤	小型構造物、人力打設、一般養生、現場内小運搬無、一般型枠	m	50				
街渠板 (I型) 切下げ部⑥、段差部⑧	小型構造物、人力打設、一般養生、現場内小運搬無、一般型枠	m	7				
現打街渠 (2型) 向日市域 ブロック撤去(再利用)、設置(再利用)	小型構造物、人力打設、一般養生、現場内小運搬無、一般型枠	m	8				
管渠工		式	1				
鉄筋コンクリート台付管	管規格:パイコン台付管φ700	m	14				
集水柵・マンホール工		式	1				
現場打ち街渠柵	集水柵・街渠柵種類:現場打材、コンクリート規格:18-8-40(高炉)、法面作業補正:無し	箇所	34				(概)
蓋	蓋種類:グレーチング (T-25、400×500用、110°開閉式)	枚	34				
暗渠排水管	VU200	m	86				
フィルター材	山砂 (洗い無、真砂、75μm通過10%以下)	m ³	21				
プレキャスト集水柵	柵規格:B300×L300×H1000、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	3				
プレキャスト集水柵	柵規格:B300×L300×H1100、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	1				
プレキャスト集水柵	柵規格:B300×L300×H1200、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャスト集水柵	柵規格:B400×L400×H1100、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	1				
プレキャスト集水柵	柵規格:B400×L400×H1200、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	1				
プレキャスト集水柵	柵規格:B500×L500×H1000、グレーチング (T-25、細目、ボルト固定)、インバート・均しCo含む	箇所	2				
現場打ち集水柵 B700-L700-H1000	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	3				(概) コンクリートV=0.88m3/箇所
現場打ち集水柵 B700-L700-H1100	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	1				(概) コンクリートV=0.96m3/箇所
現場打ち集水柵 B700-L800-H1200	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	2				(概) コンクリートV=1.09m3/箇所
現場打ち集水柵 B700-L900-H1000	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	1				(概) コンクリートV=1.00m3/箇所
現場打ち集水柵 B500-L800-H1100	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	1				(概) コンクリートV=0.64m3/箇所
現場打ち集水柵 B500-L800-H600	集水柵・街渠柵種類:現場打材,コンクリート規格:18-8-40(高炉),法面作業補正:無し	箇所	1				(概) コンクリートV=0.40m3/箇所
蓋	蓋種類:グレーチング蓋 (T-25, 細目, ボルト固定, 700×700用)	枚	4				
蓋	蓋種類:グレーチング蓋 (T-25, 細目, ボルト固定, 700×800用)	枚	2				
蓋	蓋種類:グレーチング蓋 (T-25, 細目, ボルト固定, 700×900用)	枚	1				
蓋	蓋種類:グレーチング蓋 (T-25, 細目, ボルト固定, 500×800用)	枚	2				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
構造物撤去工		式	1				
防護柵撤去工		式	1				
ネットフェンス撤去	H=1000	m	19				
ネットフェンス撤去	H=1200	m	14				
構造物取壊し工		式	1				
コンクリート構造物取壊し	構造物区分:無筋構造物, 工法区分:機械施工	m3	79				無、無、不要
コンクリート構造物取壊し	構造物区分:鉄筋構造物, 工法区分:機械施工	m3	6				無、無、不要
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, アスファルト舗装版厚:15cm以下	m	37				
舗装版切断	舗装版種別:コンクリート舗装版, コンクリート舗装版厚:15cmを超え30cm以下	m	60				
舗装版破砕	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装版厚:3cm~10cm	m2	450				障害等無、騒音振動対策不要
舗装版破砕	舗装版種別:コンクリート舗装版, 舗装版厚:20cm	m2	410				障害等無、騒音振動対策必要
運搬処理工		式	1				
殻運搬	殻種別:アスファルト殻	m3	29				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
殻運搬 舗装版	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	82				
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	79				
殻運搬	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	6				
廃プラスチック運搬	人力積込含む	kg	260				
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	29				
殻処分	殻種別:コンクリート殻(無筋)	m3	79				
殻処分	殻種別:コンクリート殻(鉄筋)	m3	89				
殻処分	殻種別:廃プラスチック	kg	260				
道路関連施設工		式	1				
道路関連施設工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m3	4				
埋戻し (参考数量)	土砂、小規模	m3	2				
小型擁壁	擁壁平均高さ0.6m	m3	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ブロック塀	C種、100mm、高炉B、両方とも仕上げをする	m ²	2				(概)
金網・支柱 (立入防止柵)	H=1,000	m	6				(概)
付帯施設工	農業用ポンプ	式	1				
ポンプ設備据付工		式	1				
溝路北1ポンプ	機械設備、電気設備各種経費含む、管理費区分9: 全ての管理費の対象にしない	箇所	1				
溝路北2ポンプ	機械設備、電気設備各種経費含む、管理費区分9: 全ての管理費の対象にしない	箇所	1				
溝路北3ポンプ	機械設備、電気設備各種経費含む、管理費区分9: 全ての管理費の対象にしない	箇所	1				
さく井工		式	1				
井戸掘削・ケーシング管挿入	ケーシングパイプ、スクリーンパイプ、ホトト管、砂利、粘土 (流用土)	箇所	1				(概)
揚水管挿入	SGP白ねじ付、40A	m	27				(概)
井戸蓋設置	サクシヨンカバー、φ40mm用	箇所	3				(概)
擁壁工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m ³	20				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
埋戻し (参考数量)	土砂、小規模	m3	20				(概)
路床盛土	流用土、2.5m未満	m3	1				(概)
小型擁壁 乗り入れ部	擁壁平均高さ0.7~0.75m	m3	2				(概)
小型擁壁 ポンプ場	擁壁平均高さ0.9m~1.0m	m3	6				(概)
コンクリート舗装 乗り入れ土間	18-8-25BB, t=15cm	m2	12				(概)
上層路盤 (歩道部) 乗り入れ土間	RC-40, t=15cm	m2	12				(概)
コンクリート舗装 ポンプ場土間	18-8-40BB, t=20cm	m2	8				(概)
上層路盤 (歩道部) ポンプ場土間	RC-40, t=15cm	m2	8				(概)
コンクリート ポンプ台座	小型構造物、人力打設、18-8-25BB、現場内小運搬無	m3	0.3				(概)
型枠 ポンプ台座 (参考数量)	小型構造物	m2	2				(概)
ポンプ付帯施設工		式	1				
引込柱設置	基礎ブロック、連続式接地棒φ10×900mm、引込柱、基礎砕石	基	3				(概)
金網・支柱 (立入防止柵)	H=1800	m	18				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
門扉・支柱	門扉 H=1800	基	3				(概)
箱抜き	φ75	m	4				(概)
基礎ブロック・鋼管基礎	門扉、基礎ブロック□200×450	基	3				(概)
プレキャスト集水桝	会所桝300、蓋含む	基	3				(概)
底部コンクリート 会所桝	小型構造物, 人力打設, 18-8-25BB, 一般養生, 現場 内小運搬無	m3	0.03				(概)
鋼製カバー据付	SUS, t=2.0mm	基	3				(概)
配管工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m3	6				(概)
埋戻し (参考数量)	土砂、小規模	m3	6				(概)
砂基礎	山砂(洗い無, 真砂, 75μm通過10%以下)	m3	1				(概)
SGP管	直管、40A、白ねじ付	m	8				(概)
SGP管	曲管、40A、90° エルボ	箇所	9				(概)
SGP管	桁違いソケット、40×50	箇所	1				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
SGP管	直管、50A、白ねじ付	m	35				(概)
SGP管	曲管、50A、90° エルボ	箇所	3				(概)
SGP管	ソケット、50mm用	箇所	9				(概)
VP管	硬質塩化ビニル管 (一般管)、40A	m	0.9				(概)
VP管	硬質塩化ビニル管 (一般管)、50A	m	17				(概)
VP管	曲管、50A、90° エルボ	箇所	5				(概)
VP管	桁違いソケット、40×50	箇所	3				(概)
ボールバルブ	黄銅製(10K)ねじ込み、φ40、Tポート	箇所	1				(概)
取付金具 (側溝内)	厚サドルバンドφ50mm、六角ボルト、ロングネジ	組	17				(概)
可とう管継手	鋳鉄製ねじ込みφ50mm	箇所	2				(概)
異種管継手	SGP管φ40mm-VP管φ40	箇所	3				(概)
異種管継手	SGP管φ50mm-VP管φ50	箇所	1				(概)
フランジ	ねじ込み鋳鉄製 (白) 組フランジAB・N付	箇所	8				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 道路改良	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
構造物撤去工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m3	40				(概)
埋戻し (参考数量)	土砂、小規模	m3	40				(概)
コンクリート取壊し運搬処理	無筋	m3	0.1				低騒音・低振動対策不要
暗渠排水管撤去	VP φ100	m	100				(概)
廃プラスチック運搬	人力積込含む	kg	340				(概)
殻処分	殻種別：廃プラスチック	kg	340				
舗装 (A)		式	1				
舗装工		式	1				
排水性舗装工 車道		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類：再生クラッシュラン RC-30, 仕上り厚：100mm	m2	2,230				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類：路盤材(瀝青安定処理材各種), 路盤材規格：再生アスファルト安定処理(25), 仕上り厚：80mm	m2	2,230				
基層(車道・路肩部)	材料種類：再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚：50mm, 平均幅員：3.0m超	m2	2,040				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	2.4m以上、50mm、有り、片側1車線、ポーラスアスコン(13)、タックコート (PKRゴム入り)	m2	2,230				
トップコート	排水性トップコート工法	m2	737				
排水性舗装工 車道 向日市域		式	1				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整砕石 RM-30, 仕上り厚:50mm	m2	40				
基層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:3.0m超	m2	40				
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	2.4m以上、50mm、無し、ポーラスアスコン(13)、タックコート (PKRゴム入り)	m2	40				
透水性舗装工 歩道 一般部		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い-真砂土、75 μ m通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	462				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種, 路盤材規格:再生クラッシュレン RC-30, 仕上り厚:100mm	m2	462				
表層	材料種類:アスファルト混合物, 材料規格:開粒度(13), 平均幅員:1.4m以上2.4m未満, 舗装厚:40mm	m2	462				
透水性舗装工 歩道 乗入部 2t未満		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い-真砂土、75 μ m通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	286				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種, 路盤材規格:再生クラッシュレン RC-30, 仕上り厚:200mm	m2	286				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
表層	材料種類:アスファルト混合物,材料規格:開粒度(13),平均幅員:1.4m以上2.4m未満,舗装厚:40mm	m2	286				
アスファルト舗装工 歩道 乗入部 2t以上10t未満		式	1				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種,路盤材規格:再生クラッシュレン RC-30,仕上り厚:250mm	m2	14				
基層(歩道部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20),舗装厚:60mm,平均幅員:1.4m以上	m2	14				
表層(歩道部)	材料種類:再生密粒度アスコン(13),舗装厚:40mm,平均幅員:1.4m以上	m2	14				
透水性舗装工 歩道 向日市域		式	1				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種,路盤材規格:再生クラッシュレン RC-30,仕上り厚:50mm	m2	6				
表層	材料種類:アスファルト混合物,材料規格:開粒度(13),平均幅員:1.4m以上2.4m未満,舗装厚:30mm	m2	6				
ブロック舗装工		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い-真砂土、75 μ m通過6%以下),仕上り厚:50mm	m2	8				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種,路盤材規格:再生クラッシュレン RC-30,仕上り厚:100mm	m2	8				
特殊ブロック舗装 点状、線状	作業区分:設置,ブロック規格:30cm \times 30cm	m2	8				
縁石工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
縁石工		式	1				
歩車道境界ブロック 一般部①	ブロック規格:A種 (JIS PL-5A)	m	144				
歩車道境界ブロック 一般部①水抜き	ブロック規格:A種 (水抜きブロック)	m	18				
歩車道境界ブロック 段差部②③	ブロック規格:A種 (PL-5A 段差用)	m	14				
歩車道境界ブロック 切下げ部④	ブロック規格:A種 (80型)	m	51				
歩車道境界ブロック 切下げ⑤	ブロック規格:A種 (100型)	m	152				
歩車道境界ブロック 切下げ⑥	ブロック規格:A種 (100型)	m	6				
防護柵工		式	1				
路側防護柵工		式	1				
ガードレール	ガードレール規格:Gp-Cp-2E 塗装品, 施工規模:20m 以上50m未満, 曲線部補正:無し	m	20				
ガードレール	ガードレール規格:Gp-Cp-2E 塗装品, 施工規模:20m 以上50m未満, 曲線部補正:有り	m	13				
防止柵工		式	1				
転落(横断)防止柵	柵高:0.8m, 作業区分:プレキャストコンクリートブロック建込	m	147				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
溶融式区画線 車道外側線・ゼブラ部分	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	13				
溶融式区画線 ゼブラ	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:セアラ 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	7				
道路植栽工		式	1				
道路植栽工		式	1				
植栽樹	京都市型第1種	箇所	7				(概)
植樹	樹木規格:高木幹周20cm以上40cm未満	本	7				(概)
支柱 みやこ柚木	支柱形式:高木二脚鳥居添木なし,規格・仕様:みやこ柚木(防腐加工なし)	箇所	7				(概)
防根シート	W=500	m	28				(概)
道路付属施設工		式	1				
照明工		式	1				
照明柱 一般柱	柱規格:高さ:GL8~12m重量:350kg超1,000kg以下	基	8				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
照明柱 多目的①②④	柱規格:高さ:GL8~12m重量:350kg超1,000kg以下	基	3				(概)
照明柱 多目的③	柱規格:高さ:GL8~12m重量:350kg超1,000kg以下	基	1				(概)
照明器具取付	照明灯具 (E77283SAJ9/K05L)、ジョイントユニット、専用ケーブル (直線型ポール用)	基	9				(概)
照明器具取付	照明灯具 (E77283SAJ9/K05C)、ジョイントユニット、専用ケーブル (直線型ポール用)	基	3				(概)
関連道路工		式	1				
舗装工		式	1				
不陸整生	再生クラッシュアスコン (RC-30)、t=30	m2	19				
表層	再生密粒度アスコン (13)、t=平均40	m2	19				
表層	再生密粒度アスコン (13)、t=平均40	m2	19				
排水構造物工		式	1				
現場打ち水路	300×305、蓋含む	m	2				(概)
現場打ち水路	700×420、蓋含む	m	0.8				(概)
構造物撤去工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装版切断	アスファルト、t=8cm	m	5				
舗装版破碎	アスファルト、t=8cm	m2	19				障害等無,騒音振動対策不要
殻運搬	アスファルト	m3	2				
殻処分	アスファルト	m3	2				
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	342				
電線共同溝 (A)		式	1				
舗装版撤去工		式	1				
舗装版破碎工		式	1				
殻運搬	殻種別:アスファルト	m3	1				
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	1				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版,舗装厚:100mm	m	11				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト	m2	6				
開削土工		式	1				
掘削工		式	1				
開削掘削	土質:土砂	m3	660				
埋戻し工		式	1				
埋戻し・締固め	土質区分:山砂(洗い無, 真砂)75 μ m通過10%以下, 土質:中埋砂	m3	220				
埋戻し・締固め	土質区分:流用土, 土質:土砂	m3	320				
埋設標識シート (材料費) 電線共同溝用	シート規格: W=300 2倍 水抜き穴有り ホリエチレンクロス	m	80				
埋設標識シート (材料費) 電線共同溝用	シート規格: W=400 2倍 水抜き穴有り ホリエチレンクロス	m	400				
埋設標識シート (材料費) 電線共同溝用	シート規格: W=600 2倍 水抜き穴有り ホリエチレンクロス	m	56				
残土処理工		式	1				
土砂等運搬		m3	300				
残土等処分		m3	300				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
電線共同溝工		式	1				
管路工(管路部)		式	1				
埋設管路 幹線	材質:角型FEP, 径:100mm	m	1,252				
埋設管路 幹線	材質:角型FEP, 径:81mm	m	1,365				
埋設管路 幹線	材質:FA管・直管, 径:150mm	m	151				
埋設管路 幹線	材質:FA管・曲管, 径:150mm	m	35				
埋設管路 幹線	材質:VP管・直管, 径:100mm	m	6				
埋設管路 幹線	材質:VP管・曲管, 径:100mm	m	4				
埋設管路 幹線	材質:PV管・直管, 径:75mm	m	67				
埋設管路 幹線	材質:PV管・曲管, 径:75mm	m	31				
埋設管路 幹線	材質:PV管・直管, 径:50mm	m	19				
埋設管路 幹線	材質:PV管・曲管, 径:50mm	m	11				
埋設管路 引込	材質:ECVP管・直管, 径:75mm	m	85				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
埋設管路	材質:ECVP管・曲管, 径:75mm						
引込		m	54				
埋設管路	材質:PV管・直管, 径:50mm						
引込		m	60				
埋設管路	材質:PV管・曲管, 径:50mm						
引込		m	24				
埋設管路	材質:PV管・90度曲管(0.5R), 径:50mm						
引込		m	1				
ロングヘルマウス (材料費) 幹線	角型FEPφ100用	個	44				(概)
ロングヘルマウス (材料費) 幹線	角型FEPφ81用	個	53				(概)
ダクトスリーブ (材料費) 幹線	FA管取付管φ150用	個	8				(概)
ダクトスリーブ (材料費) 幹線	VP(SUD-II-V)管取付管φ100用	個	1				(概)
ダクトスリーブ (材料費) 幹線	PV管取付管φ75用	個	5				
ダクトスリーブ (材料費) 幹線・引込	PV管取付管φ50用	個	12				
ダクトスリーブ (材料費) 引込	SVP管・ECVP管兼用取付管φ75用	個	11				(概)
導通線 (材料費) 幹線・引込	合繊ロープ 外形4mm	m	3,161				
フレキストボックス工(特殊部)		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
プレキャストボックス 電力柵Ⅰ型2連 950×3300×1100(内寸)	基礎砕石(RC-40) t=100mm, A=5.3m2含む	個	4				(概)
プレキャストボックス 電力柵Ⅱ型 950×1950×1100(内寸)	基礎砕石(RC-40) t=100mm, A=3.4m2含む	個	2				(概)
プレキャストボックス 高さ調整ブロック I-145, 1200×1650×150	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	8				(概)
プレキャストボックス 高さ調整ブロック II-100, 1200×1250×150	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	1				(概)
プレキャストボックス 高さ調整ブロック II-195, 1200×2200×200	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	1				(概)
プレキャストボックス 機器据付ブロック I-100, 1200×1650×200	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	4				(概)
プレキャストボックス 電力柵用機器据付ブロック II-100, 1200×2200×190	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	1				(概)
プレキャストボックス 電力柵用金蓋取付ブロック II-88, 1200×2200×200	作業区分: 1000kgを超え4000kg以下, 補正係数: 標準	個	1				(概)
プレキャストボックス 電力柵用蓋版ブロック I-00-20, 1200×1650×200(穴なし)	作業区分: 1000kg以下, 補正係数: 標準	個	4				(概)
蓋 電力柵用	蓋種類: 電力柵鉄蓋(円形) φ870歩道用・車道用	組	1				(概)
プレキャストボックス 通信柵(レジン箱型) φ700用 1200×2200×1500(内寸)	基礎砕石(RC-40) t=100mm A=3.9m2含む	個	5				(概)
蓋 通信柵用	蓋種類: 通信柵鉄蓋(円形) φ700歩道用、通信用築造ブロック	組	5				(概)
舗装工		式	1				

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
アスファルト舗装工 現道舗装①		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クラッシュ RC-30, 仕上り厚:100mm	m2	6				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整碎石(RM-30), 仕上り厚:100mm	m2	6				
基層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	6				
表層(車道・路肩部)	材料種類:再生密粒度アスコン(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	6				
道路附属施設工		式	1				
照明工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m3	410				
埋戻し (参考数量)	小規模、土砂	m3	410				(概)
クッション砂 (材料費)	山砂(洗い無、真砂、75μm通過10%以下)	m3	30				(概)
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設	道路沿い(地中), 新設, FEP30mm, 1条, 付属品率計上0%	m	330				(概)
ケーブル及び電線配線	管内配線, 20mm以下, 新設, 材料:架橋ホリ絶縁ビニルケーブル #600V (CV) 3.5mm2 2芯	m	350				(概)
埋設標識シート敷設	W=150、2倍、水抜き穴無し、電力・通信用	m	330				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
道路照明柱基礎設置 一般柱		基	9				(概)
多目的柱基礎設置 多目的柱①②		基	2				(概)
多目的柱基礎設置 多目的柱③		基	1				(概)
多目的柱基礎設置 多目的柱④		基	1				(概)
足場工 (参考数量)	手摺先行型枠組足場、安全柵ト：不要、標準	掛m2	110				(概)
ハンドホール	600×600	箇所	3				(概)
信号工		式	1				
床掘り (参考数量)	土砂、小規模	m3	70				
埋戻し (参考数量)	小規模、土砂	m3	60				(概)
クッション砂 (材料費)	山砂 (洗い無、真砂、75μm通過10%以下)	m3	20				(概)
土砂等運搬	小規模、バックホウ山積0.28	m3	20				(概)
残土等処分		m3	20				
波付硬質合成樹脂管 (FEP) 敷設	道路沿い(地中)、新設、FEP80mm、3条、付属品率計上0%	m	61				(概)

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
波付硬質合成樹脂管 (FEP) 敷設	道路沿い(地中), 新設, FEP50mm, 2条, 付属品率計上0%	m	34				(概)
埋設標識シート敷設	W=300、2倍、水抜き穴無し、電力・通信用	m	95				(概)
歩行者1灯用信号柱基礎①設置		基	1				(概)
歩行者1灯用信号柱基礎②設置		基	1				(概)
信号制御機基礎設置 2 台用		基	1				(概)
ハンドホール	600×600	箇所	4				(概)
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	204				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の46.1%以内		式	1				(概)を参照

設計内訳書 (本01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要	
直接工事費		式	1					
共通仮設		式	1					
共通仮設費		式	1					
現場環境改善費		式	1					
現場環境改善費 (率計上)		式	1					
共通仮設費 (率計上)		式	1					
純工事費		式	1					
現場管理費		式	1					
工事原価		式	1					
一般管理費等		式	1					
工事価格		式	1					
消費税額及び地方消費税額		式	1					
工事費計		式	1					

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
舗装 (B)		式	1				
舗装工		式	1				
透水性舗装工 歩道 一般部		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い・真砂土、75 μ m通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	92				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種,路盤材規格:再生クラッシュ RC-30, 仕上り厚:100mm	m2	92				
表層	材料種類:アスファルト混合物,材料規格:開粒度(13),平均幅員:1.4m以上2.4m未満,舗装厚:40mm	m2	92				
透水性舗装工 歩道 乗入部 2t未満		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い・真砂土、75 μ m通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	12				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種,路盤材規格:再生クラッシュ RC-30, 仕上り厚:200mm	m2	12				
表層	材料種類:アスファルト混合物,材料規格:開粒度(13),平均幅員:1.4m以上2.4m未満,舗装厚:40mm	m2	12				
区画線工		式	1				
区画線工		式	1				
熔融式区画線 車道中央線	施工方法区分:熔融式手動,規格・仕様区分:実線 1 5cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	180				

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 舗装	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
溶融式区画線 車道外側線・ゼブラ部分	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:実線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	490				
溶融式区画線 横断歩道	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:ゼブラ 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	24				
溶融式区画線 停止線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:ゼブラ 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	3				
溶融式区画線 車道外側線	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:破線 15cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	3				
溶融式区画線 ゼブラ	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:ゼブラ 45cm,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	m	64				
溶融式区画線 ダイヤモンド	施工方法区分:溶融式手動,規格・仕様区分:矢印・記号・文字 15cm換算,塗布厚:厚1.5mm,排水性舗装:有り	箇所	2				
仮設工		式	1				
仮水路工		式	1				
暗渠排水管	高密度ポリエチレン管φ400(ダブル構造)、継手材料費要	m	16				
仮防護柵工		式	1				
ガードレール	置き式、Gr-C-2B-2、基礎ブロック含む	m	210				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	10				

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
電線共同溝 (B)		式	1				
舗装版撤去工		式	1				
舗装版破碎工		式	1				
殻運搬	殻種別:アスファルト	m3	2				
殻処分	殻種別:アスファルト殻	m3	2				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:100mm	m	16				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:50mm	m	6				
舗装版切断	舗装版種別:アスファルト舗装版, 舗装厚:30mm	m	18				
舗装版破碎	舗装版種別:アスファルト	m2	30				
開削土工		式	1				
掘削工		式	1				
開削掘削	土質:土砂	m3	30				
埋戻し工		式	1				

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
埋戻し・締固め	土質区分:山砂(洗い無,真砂)75 μ m通過10%以下, 土質:中埋砂	m ³	10				
埋戻し・締固め	土質区分:流用土,土質:土砂	m ³	9				
埋設標識シート (材料費) 電線共同溝用	シート規格:W=400 2倍 水抜き穴有り ポリエチレンクロス	m	35				
残土処理工		式	1				
土砂等運搬		m ³	20				
残土等処分		m ³	20				
電線共同溝工		式	1				
管路工(管路部)		式	1				
埋設管路	材質:角型FEP,径:100mm	m	110				
埋設管路	材質:角型FEP,径:81mm	m	84				
埋設管路	材質:PV管・直管,径:75mm	m	29				
ロンクベルマウス (材料費) 幹線	角型FEP ϕ 100用	個	4				(概)
ロンクベルマウス (材料費) 幹線	角型FEP ϕ 81用	個	5				(概)

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
ダクトスリーブ (材料費) 幹線	PV管φ75用	個	3				
導通線 (材料費) 幹線		m	223				
舗装工		式	1				
アスファルト舗装工 排水性舗装②(向日市域)		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生クワッシュラン RC-30, 仕上り厚:150mm	m2	13				
上層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類:再生粒度調整砕石(RM-30), 仕上り厚:150mm	m2	13				
基層(車道・路肩部)	材料種類:再生粗粒度アスコン(20), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	13				
排水性舗装・表層(車道・路肩部)	1.4m未満、50mm、有り、片側1車線、ポーラスアスコン(13)、タックコート(PKRゴム入り)	m2	13				
透水性舗装工 歩道舗装②一般部 (向日市域)		式	1				
フィルター層	材料種類:山砂(洗い・真砂土, 75μm通過6%以下), 仕上り厚:50mm	m2	12				
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:各種, 路盤材規格:再生クワッシュラン(RC-30), 仕上り厚:100mm	m2	12				
表層	材料種類:アスファルト混合物, 材料規格:開粒度(13), 平均幅員:1.4m未満, 舗装厚:30mm	m2	12				
アスファルト舗装工 歩道舗装②乗入部 (向日市域)		式	1				

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
上層路盤(歩道部)	路盤材種類:再生クラッシュラン RC-30, 仕上り厚:250mm	m2	5				
表層(歩道部)	材料種類:再生密粒度アスコン(13), 舗装厚:50mm, 平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)	m2	5				
仮設工		式	1				
交通管理工		式	1				
交通誘導警備員	B	人日	14				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工		式	1				
概略発注工 設計内訳書の区分別の概略発注工 を除く直工の0.3%以内		式	1				(概)を参照
直接工事費		式	1				
共通仮設		式	1				
共通仮設費		式	1				
現場環境改善費		式	1				

設計内訳書 (附01)

工事名	向日町上鳥羽線他道路整備 (その1) 工事				事業区分 工事区分	道路新設・改築 電線共同溝	
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量・金額増減	摘要
現場環境改善費 (率計上)		式	1				
共通仮設費 (率計上)		式	1				
純工事費		式	1				
現場管理費		式	1				
工事原価		式	1				
一般管理費等		式	1				
工事価格		式	1				
消費税額及び地方消費税額		式	1				
工事費計		式	1				

特記仕様書（個別工事編）

工事名 向日町上鳥羽線他道路整備（その1）工事

工事場所 京都市南区久世殿城町 地内

1 一般事項

第1条（適用）

本工事の施工に当たっては、「設計図書」によるほか、土木請負工事必携（以下「請負工事必携」という。）（令和6年8月京都市）」及び「特記仕様書（全工事共通編）（令和6年8月）」によらなければならない。さく井工については、上記によるほか「さく井工事施工指針（2021年版一般社団法人全国さく井協会）」によらなければならない。

なお、本工事施工現場には、必ず請負工事必携、特記仕様書（全工事共通編）及び本特記仕様書を常備しなければならない。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「監督・検査」⇒「工事（土木、舗装、樹木等）の仕様書、様式等」参照

請負工事必携・特記仕様書（全工事共通編）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000292439.html>

本工事において施工する農業用ポンプ設備については、別添1「機械特記仕様書」によるものとする。

第2条（受注者希望方式による「月単位の週休2日」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局週休2日工事」の対象（受注者希望方式による「月単位の週休2日」であり、「京都市建設局週休2日工事実施要領」
<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000322908.html>）に基づいて実施する。ただし、「通期の週休2日」は必須である。
- 2 受注者は、契約後すみやかに、「月単位の週休2日」の実施を希望するか否かを、発注者と協議し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。また、施工計画書の作成に当たっては、「月単位の週休2日」の実施内容を反映させること。
- 3 「月単位の週休2日」を達成した場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点对象となる。
- 4 受注者は、本市が週休2日の推進を目的に受注者に対して実施する「京都市建設局週休2日工事」に関するアンケート調査やヒアリング調査に、随時協力しなければならない。
- 5 工事標示板に「京都市建設局週休2日工事」（4週8休以上であることを明記すること。）である旨を明示すること（様式不問）。

第3条（前払金）

- 1 設計内訳書（1）及び同（2）の前払金は、各会計年度の出来高予定額の40%以内とし、中間前払金は同様に20%以内とする。
- 2 前払金保証（中間前払金保証を含む。）について、電子証書の提出を可能とする。

※ 京都市入札情報館ホームページ「契約保証及び前払金保証に係る保証証書の電子化への対応について」参照 (<https://www2.city.kyoto.lg.jp/rizai/chodo/info/pdf/2023/shoushodenshika.pdf>)

3 各会計年度における請負代金の支払限度額及び出来高予定額の割合は、概ね次のとおりとする。

設計内訳書（１）

支払限度額の割合

令和 7年度 30.0%

令和 8年度 70.0%

出来高予定額の割合

令和 7年度 34.0%

令和 8年度 66.0%

設計内訳書（２）

支払限度額の割合

令和 7年度 30.0%

令和 8年度 70.0%

出来高予定額の割合

令和 7年度 34.0%

令和 8年度 66.0%

※ 各会計年度の請負代金の支払限度額及び出来高予定額は、契約書作成時に通知する。

2 現場条件に関する事項

第4条（現場条件）

本工事の施工に当たっては、下記の現場条件等に留意すること。

- 1 本工事範囲に、大阪ガス株式会社がガス本管を埋設予定であるため、施工業者（未定）と施工手順や施工時期等については調整のうえ施工に取りかかること。
- 2 本工事範囲に、本市上下水道局下水道部が下水管を埋設予定であるため、施工業者（未定）と施工手順や施工時期等については調整のうえ施工に取りかかること。
- 3 電線共同溝の引込管路は、本工事及び今後発注予定の工事委託（施工業者未定）で埋設範囲を分担しているため、施工業者（未定）と施工手順や施工時期等については調整のうえ施工に取りかかること。
- 4 電線共同溝に関して、向日町上鳥羽線及び牛ヶ瀬馬場線ともに向日市の幹線管路と接続予定であるため、接続方法等について接続先の向日市と密に協議すること。
- 5 JR向日町駅前開発関連工事や向日市道整備工事が本工事施工時期と重なるため、各施工業者と施工手順や施工時期等について密に連携して施工に取りかかること。

第5条（施工時間）

施工時間は、昼間施工とする。ただし、所管警察署等と協議の結果、施工時間に変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第6条（協議等）

本工事の牛ヶ瀬馬場線2NO. 4+10付近の交差点については、現在向日市及び関係者と協議中であるが、令和7年8月頃に協議が成立する見込みである。

なお、協議の結果変更が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

第7条（支障物件等）

本工事区間内の支障物件は下表のとおりである。受注者は各企業との連絡を十分行うこと。また、移設時期等を延期するような場合は設計変更の対象とする。

支障物件	管理者	位置	企業者との協議	移設期間	工事方法	立会
電柱	関西電力送配電	2No.1	協議中	令和8年度	移設	要
電柱	関西電力送配電	2No.2+10	協議中	令和8年度	移設	要
電柱	関西電力送配電	2No.4+10	協議中	令和8年度	移設	要
水道管	個人	No.1	済	令和7年度	移設	要

第8条（交通誘導警備員）

交通誘導警備員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署等の打合せの結果、又は条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督職員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導警備員 (1日当たりの編成人数)	編成	昼間・夜間・ 24時間の別	交替要員の有無
工事区間	2名	交通誘導警備員B 2名	昼間	無

3 監督職員の確認に関する事項

第9条（現場中間検査）

- 1 本工事は、現場中間検査の対象工事とし、実施回数は1回以上とする。
- 2 検査の対象工種及び実施時期は、完成、既済の検査時期及び当該工事の主要工種並びに施工上の重要な変化点である段階確認の実施時期等を考慮し、監督職員と協議のうえ、定めるものとする。
- 3 現場中間検査の検査日時等については、受注者の意見を聞いて監督職員が通知するものとする。
- 4 現場中間検査に要する費用は受注者の負担とする。

第10条（材料確認）

受注者は、次表の材料・資材・製品について、監督職員が臨場のうえ、材料確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に材料等の名称・規格等を記載すること。

受注者は、監督職員が材料確認のために臨場した際、当該材料等の製造者が発行する品質を証明する資料（見本を含む）との照合、搬入された材料等の外観（角欠け、ひび割れ等）、形状、寸法及び数量等の確認を受けなければならない。

ただし、監督職員の確認が机上となる場合、受注者は、当該材料等の外観、形状、寸法（幅、長さ、高さ）及び搬入数量等が判別できる写真記録等の資料（納品書、納品伝票も可）を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該材料等を使用して工事を実施してはならない。

土木工事施工管理基準「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料

材 料・製 品	備 考
プレキャストコンクリート製品 (JIS I類、JIS II類含む)	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)
アスファルト合材 (排水性舗装、透水性舗装含む)	「品質管理基準及び規格値」 (区分・項目・方法・頻度)

監督職員の指定に基づき実施する材料・資材及び製品
 (「品質管理基準及び規格値」に基づき実施する製品及び材料以外)

工種・種別等	細 別	材料・資材・製品
側溝工	側溝蓋	グレーチング各種
集水桝・マンホール工	蓋	グレーチング各種
付帯施設工	各溝路北ポンプ等	渦巻ポンプ等
路側防護柵工	ガードパイプ	ガードパイプ (Gp-Cp-2E)
防護柵工	転落(横断)防護柵	横断防止柵 (H=800)
道路植栽工	植樹	ヒトツバタゴ
照明工	照明柱	LED 照明器具等
仮防護柵工	ガードレール	置き式ガードレール
管路工(管路部)	埋設管路	管路材各種
プレキャストボックス工(特殊部)	プレキャストボックス	電力桝
	蓋	通信桝
照明工	道路照明柱基礎設置	アンカーボルト
	多目的柱基礎設置①②③④	
信号工	歩行者1灯用信号柱基礎①設置	アンカーボルト
	歩行者1灯用信号柱基礎②設置	
	信号制御機基礎設置	

第11条 (受注者の臨場)

監督職員が行う段階確認においては、主任技術者(又は監理技術者、或いは監理技術者補佐)又は現場代理人、若しくは、予め監督職員の承諾を得た者が臨場のうえ、確認を受けなければならない。

第12条 (段階確認)

受注者は、共通仕様書(3-1-1-4)の「表3-1-1 段階確認一覧表」に示す各種別、「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目及び次表の工種・種別等の施工段階において、監督職員が臨場のうえ段階確認を受けるものとする。また、あらかじめ施工計画書に確認内容を記載すること。

ただし、監督職員による確認が机上となる場合、受注者は、施工状況、出来形、品質、不可視部分等の判別ができる施工管理記録(出来形成果表、設計図面との対比図、品質管理記録等)と写真等の資料を監督職員に提出し、その確認を受けなければならない。

なお、受注者は監督職員の確認を得ずに、当該工種以降の作業を実施してはならない。

「共通仕様書(3-1-1-4)の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認

工種-種別等	細 別	確 認 時 期
道路土工(路床盛土工) 舗装工 (下層路盤)		プルフローリング実施時

監督職員の指定に基づき実施する段階確認（「品質管理基準及び規格値」による段階確認項目含む）
 （「共通仕様書（3-1-1-4）」の「表3-1-1 段階確認一覧表」に基づき実施する段階確認以外）

工種・種別等	細 別	確 認 項 目
排水構造物工		施工前の状況（排水勾配にかかる基準高さ、下流側からの施行実績など）
排水性舗装工	基層（車道・路肩部）	導水帯施工時の状況（乳剤散布、導水パイプ配置、出来形等）
管路工（管路部）	各種管路工	管路部掘削完了時、埋戻し状況
		管路完成後、導通試験
プレキャストボックス工(特殊部)	プレキャストボックス	柵部掘削完了時、埋戻し状況

第13条（立会確認）

受注者は、次表に示す内容について、監督職員と現地で立会を行い、確認するものとし、監督職員が確認するまでは次の作業に進んではならない。

項 目	確 認 方 法・目 的 等
企業者の地下埋設物確認	工事によって企業者等の地下埋設物に悪影響が出ないようにするため、受注者が企業者及び監督職員と立会し、地下埋設物の位置、深さ及び幅等について確認をする。確認方法は、試掘又は各種探知器等による。
基準点の確認	工事前、工事後に基準点に相違がないか立会確認をする。
工事箇所の境界確認	本工事箇所に隣接して第三者の所有する土地があることから、工事箇所の境界について、現地で監督職員と立会い、その位置や形状等を確認すること。
ダンプトラックの過積載状況確認	ダンプトラックによる過積載防止のため、監督職員と立会確認をする（ただし、立会確認書は必要としない。）

4 建設副産物に関する事項

第14条（建設副産物の適正処理）

1 建設廃棄物が発生する場合の対応

本工事の施工により発生する建設廃棄物は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設へ搬出するものとする。

なお、下表は積算上の条件明示であることから施設を指定するものではなく、監督職員の承諾を得て搬出先の変更を行うことができるが、原則として設計変更の対象としない。

また、産業廃棄物が発生する場合は「京都市産業廃棄物の不適正な処理の防止等に関する条例」（最終改正平成23年4月1日）及び「京都市産業廃棄物不適正処理対策要綱」（最終改正平成16年4月1日実施）を遵守すること。

特に、マニフェストを発行して産業廃棄物が適正に処理されたことを確認すること。このとき、受注者が排出業者であることとして保管の義務のあるA、B2、D、E票については、その原本を監督職員へ提示すること。

<産業廃棄物>

建設副産物	受入場所	備 考
コンクリート塊 （有筋）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡宇治田原町大字禅定寺小字粽谷37番他	設計運搬距離 L=28.1km
コンクリート塊 （無筋）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府綴喜郡井手町大字井手小字久保48番地の1他	設計運搬距離 L=25.8km
アスファルト・コンクリート塊 （掘削）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都府長岡京市勝竜寺近竹1番地	設計運搬距離 L=7.0km
廃プラスチック類	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた施設 京都市伏見区横大路千両松町78	設計運搬距離 L=7.1km

2 舗装切断時に発生する濁水及び粉塵

受注者は、舗装切断時に発生する濁水を回収し、産業廃棄物（汚泥）として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

また、受注者は、濁水が生じない工法（空冷式等）を採用した場合も、濁水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、産業廃棄物として「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理しなければならない。

当初設計には濁水及び粉塵の収集運搬及び処分に掛かる費用は計上していない。濁水処理費等が必要な場合は、設計変更の対象とする。

3 建設発生土が発生する場合の対応（指定地処分）

受入地が発行する書類、伝票などの写しを監督職員に随時提出するとともに、その原本との照合による確認を検査時まで監督職員に受けるものとする。

なお、建設発生土の搬出に当たり、仮置きが必要な場合は、沿道環境に配慮した搬出計画を立てるものとし、書面等により事前に監督職員の確認を受けること。

原則、下表に示す受入先へ搬出するものとするが、土質性状や搬入時期等により搬出できない場合は、監督職員と協議のうえ、その指示によるものとする。

ただし、実施日において、公共工事間で流用可能な場合は、工事間流用を最優先するものとし、設計変更の対象とする。

<建設発生土>

建設副産物	受入場所	備 考
建設発生土	(指定地処分) 豊坂建材 (株) 京都府京都市西京区榎原芋峠 60-3	設計運搬距離 L = 5.2km

本工事では土壌調査費等を計上していないが、建設発生土について、以下の事項のいずれかに該当する場合は土壌調査が必要となる。その場合は、設計変更の対象とする。

- (1) 指定している受入場所がある地方公共団体の関係法令に基づく土地の埋立等の許可を得た事業者である場合
- (2) 本工事の土砂等の性状（色、臭い等）や廃棄物の混入等の状況が埋立基準に適合しないおそれがある場合
- (3) 上記の(1)(2)以外に土壌調査が必要となった場合

なお、土壌調査を実施することとなる場合は、建設発生土の搬出前に土壌調査を実施し、以下の資料を監督職員に提出すること。

- (1) 土壌分析結果証明書（計量法第122条第1項の規定により登録された計量士のうち、濃度に係る計量士が発行した土壌の分析結果を証する書類（測定方法を明示したもの））
- (2) (1)の試料を採取した地点を示す図面及び当該地点の写真

4 建設発生土の受入地の変更

土質性状や搬入時期等により指定する受入地に搬出ができない場合、監督職員は京都市土木積算システム設計単価第5編及び公共物GISに掲載している他の施設の中から積算上の2番目以降の受入地（以下、「積算受入地」という。）を順次指定し、受注者は搬出の可否を確認するものとする。

積算受入地への建設発生土の搬出について、監督職員と協議のうえ決定するものとし、設計変更の対象とする。

なお、受注者は、積算受入地に代えて、京都市土木積算システム設計単価第5編及び公共物GISに掲載している他の施設、又は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の許可を受けた施設の中から別の受入地（以下、「提案受入地」という。）を提案することができる。

提案受入地への建設発生土の搬出が適正であると認められる場合はこれを妨げないが、設計変更の対象としない。また、提案受入地での処分に掛かる費用が、積算受入地での処分に掛かる費用を下回

る場合は、減額の設計変更を行うものとする。

第15条（特定建設資材の分別解体等及び再資源化等）

(1) 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(最終改定令和4年6月17日)(以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等及び再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は、契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上明示した以下の事項と別の方法であった場合でも設計変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

分別解体等の方法

	工 程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎工(杭基礎等)	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (フェンス、舗装、C o 構造物)	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input checked="" type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

※ 特定建設資材廃棄物を排出する場合、再資源化施設等の所在地については、本特記仕様書に示す「建設副産物の適正処理について」に記載のとおりとする。

(2) 受注者は、特定建設資材の分別解体等及び再生資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を別に定める18条様式に記載し、監督職員に報告すること。

- ・再資源化等が完了した年月日
- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

なお、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を提出した場合、18条に基づく報告を省略することができるものとする。

5 その他事項

第16条（工事書類の提出）

完成検査の受検に向けた出来形図書については、工期末の45日前までに提出すること。また、完成検査に必要な工事書類については、工期末の14日前までに提出すること。

第17条（受注者希望型におけるICT活用工事の試行）

1 本工事は、「京都市建設局ICT活用工事試行方針（案）」（令和6年2月）（以下「試行方針」という。）及び「京都市建設局ICT活用工事試行要領（案）」（令和6年2月）（以下「試行要領」という。）の内容に従いICT活用工事を試行できる。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」⇒「高度情報化」参照
(<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000290097.html>)

2 試行の対象工種は「試行方針」に定めた工種とし、「試行要領」の対象工種の詳細に基づき、ICT活用工事を試行できる。

3 受注者が試行を希望する場合、契約後施工計画書の提出までに、受注者はICT活用の効果、具体的な工事内容・数量及び対象範囲について、発注者へ提案、協議を行うこと。発注者と協議が整った施工プロセス①～⑤の全て又は何れかの段階で、ICT施工技術を活用できる。

なお、試行の対象工種が土工、舗装工、舗装工（修繕工）の場合は、施工プロセス①、②、③又は②、④、⑤を含む3つ以上の施工プロセスの活用を基本とし、その他のプロセスを含め協議にり選定できる。

- ① 3次元起工測量
- ② 3次元設計データ作成
- ③ ICT建設機械による施工
- ④ 3次元出来形管理等の施工管理
- ⑤ 3次元データの納品

4 ICT活用工事の費用については、当初は計上せず、発注者との協議が整った各施工プロセスの段階を設計変更で必要な経費を計上する。受注者は設計変更に必要な見積書を提出すること。

5 「試行要領」により有効に試行したことが認められた場合は、工事成績の「創意工夫」及び「工事特性」の項目で加点評価する。ただし、①3次元起工測量の1プロセスのみの活用は除く。

第18条（情報共有システムの利用）

1 本工事は、情報共有システム（以下「システム」という。）の利用対象とする。システムを利用しない場合は、監督員から承諾を得るものとする。

システムの利用に当たっては、「京都市建設局情報共有システム活用ガイドライン（令和6年3月）（※）」（以下「ガイドライン」という。）を遵守するものとし、ガイドラインの内容を十分に確認したうえで事前協議を行うこと。

2 利用するシステムは、ガイドラインで定める要件を満たすシステムの中から、受注者が選定すること。

3 システムの利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれており、システム提供者との契約や利用に係る手続等は受注者が行うものとする。

4 システムで発議・提出・受理などの処理を行った工事帳票は、「京都市建設局電子納品実施要領」（以下「要領」という。）に基づき作成された仕様の電子データで出力し納品すること。

なお、要領は適宜改正されることから、適宜、京都市情報館を確認すること。

※ 京都市情報館「トップページ」⇒「まちづくり」⇒「技術管理」参照

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000280681.html>

第19条（発注者指定型における遠隔臨場の実施）

本工事は遠隔臨場を行うものとする。

1 目的

本工事は、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）及び「建設現場における遠隔臨場に関する監督・検査実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い実施するものとする。

2 実施内容

（1）「段階確認」、「材料確認」及び「立会」の実施

ア 受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影する映像と音声を監督職員へWeb会議システム等を使用し、双方向の通信により会話しながら確認する。実施内容については、受発注者間の協議により決定するものとする。

イ 遠隔臨場に使用する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の資機材は受注者が準備するものとする。ウェアラブルカメラ等の資機材は、使用製品を限定するものではなく、一般的なAndroidやi-Phone等のモバイル端末を使用することも可能である。ただし、監督職員が使用するパソコン等の機器・ネットワーク環境に適合する資機材を使用するものとし、資機材の選定に当たっては監督職員から承諾を得ること。

なお、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）の使用は、「段階確認」、「材料確認」及び「立会」だけでなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。

（2）効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査を実施する場合は、調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

（3）費用

遠隔臨場の実施に掛かる費用については、積上げ計上していないが、「建設現場の遠隔臨場に関する実施要領（案）」（令和5年3月）の内容に従い、遠隔臨場の実施に要する費用を設計変更の対象とする。

なお、遠隔臨場の実施方法については、施工計画書提出までの協議において提案するものとする。また、受注者はその費用について見積書を提出するものとする。

（4）成績評定

遠隔臨場を実施した工事の成績評定は、考査項目「創意工夫」において、1点の加点とする。

第20条（「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の実施）

- 1 本工事は「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事」の対象（ただし、受注者希望方式）であり、「京都市建設局建設キャリアアップシステム活用モデル工事試行要領」（<https://www.city.kyoto.lg.jp/kensetu/page/0000338803.html>）に基づいて実施する。
- 2 受注者は、契約後速やかに、建設キャリアアップシステムの活用を希望するか否かを、発注者へ通知し、その内容を工事打合せ簿に記録すること。
- 3 建設キャリアアップシステムの履行状況を確認できた場合は、工事成績評定の考査項目「創意工夫」において、加点対象となる。

第21条（植栽工事における植替え）

- 1 植栽樹木等が工事完了引渡後1年以内に植栽した時の状態で枯死又は形姿不良（枯枝が樹冠部のおおむね2／3以上となった場合又は通直な主幹を持つ樹木については、樹高の概ね1／3以上の主幹が枯れた場合をいい、確実に同様の状態になると想定されるものを含む。）となった場合には、受注者は当初植栽した樹木と同等又はそれ以上の規格のものに植え替えるものとし、樹木等の枯死又は形姿不良の判定は、甲乙立会のうえ行うものとする。ただし、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地すべり・落盤・火災・騒乱・暴動等の天災により流出・折損・倒木した場合はこの限りでない。

植替え時期については、甲乙協議するものとする。

なお、本項は樹木等を支給するもの又は樹木等の発生品を使用する場合は適用しないものとする。

- 2 干害・風水害等に起因するものであっても立ち枯れの状態のものについては、前項を適用する。
- 3 植替えを行った樹木等が、工事完了引渡日から1年以内に再枯損した場合は、再度植え替えるものとする。
- 4 本工事における樹木等とは、次のものをいう。
ヒトツバタゴ
- 5 以下の細別を植栽割増の対象とする。

工種	種別	細別	備考
道路植栽工	道路植栽工	植樹	

第22条（電線共同溝）

本工事の実施にあたり適用する諸基準は、共通仕様書の定めによる他、監督職員の指示によるものとする。

10-12-5-2 管路工（管路部）

（1）電力ケーブル保護管（角型FEP管、ECVP管）

（ア）許容屈曲半径

道路形態、既設埋設物件により曲り管路を築造する場合は、その屈曲半径は5m以上でなければならない。

ただし、電柱への連系管路で保護バンド管を使用する場合はこの限りでない。

（イ）許容扁平率

直管を曲り管路に使用する場合は、その屈曲範囲は5m以上でなければならない。この場合の曲げ加工による管の扁平率は90%以上でなければならない。

扁平率＝（加工後の管内径〔短径〕）／（加工前の管内径）×100≧90

（ウ）現場加工

- a 管を現場で切断する場合は、管軸に対し直角に切断し、その端部は必ず面取り加工（1.5mm以上）を施さなければならない。

- b 管の接続部は直線でなければならない。従って、曲り管の接続に際してもその両端には必ず50cmの長さの直線箇所を設けなければならない。
- (エ) 通過性能(導通試験)
- a 導通試験は全管路について行わなければならない。不合格の場合は、再度掘削して手直しをするものとする。
- b $\phi 100$ の電力ケーブル保護管については、鉛製の管路試験棒($\phi 95\text{mm} \cdot L = 1300\text{mm}$)が通過すること。
- c $\phi 75$ (角型FEP: $\phi 81$)の電力ケーブル保護管については、3号マンドレル($\phi 73\text{mm} \cdot L = 300\text{mm}$)が通過すること。
- (2) 通信ケーブル保護管(PV管)
- (ア) 許容屈曲半径
道路形態、既設埋設物件により曲り管路を築造する場合は、その屈曲半径は5m以上でなければならない。
- (イ) 通過性能(導通試験)
- a 導通試験は全管路について行わなければならない。不合格の場合は、再度掘削して手直しをするものとする。
- b $\phi 75$ のPV管については3号マンドレル($\phi 73\text{mm} \cdot L = 300\text{mm}$)が通過すること。
- c $\phi 50$ のPV管については、最小外周長13cmのウエスが通過すること。また、 $\phi 25$ のPV管については、最小外周長8cmのウエスが通過すること。
なお、ウエスは40cm間隔で導通線に2箇所取付けたものであること。
- (3) フリーアクセスV管・VP(SUDII-V)管
- (ア) 許容屈曲半径
道路形態、既設埋設物件により曲り管路を築造する場合は、その屈曲半径は5m以上でなければならない。
- (イ) 通過性能(導通試験)
- a. 導通試験は全管路について行わなければならない。不合格の場合は、再度掘削して手直しをするものとする。
- b. $\phi 150$ のフリーアクセスV管については、ウエスの最小外周長42cm以上($L = 40\text{cm}$)のもの、 $\phi 100$ のVP(SUDII-V)管については、ウエスの最小外周長28cm以上($L = 40\text{cm}$)のものが通過すること。
- (4) 埋設表示シート
管路の明示は、埋設表示シート(ピンク地・黒文字)を掘削埋戻標準図のとおり管路全面にわたって設置しなければならない。
- (5) 共通事項
- (ア) 曲り箇所については、入線に支障のない所定の曲率半径を確保すること。
- (イ) 管路・プレキャストボックス周辺の埋戻しについては、山砂または同等品を使用し、入念に水締めを行ったうえで締固めること。なお、開削土工(埋戻し)における中埋砂の水締めにかかる水代については、必要な場合は変更設計で追加するため、当初では計上していない。請負者が実用量について資料を提出した場合、協議の上、変更設計で計上する。
- (ウ) ハンドホール等の柵と管路の接続部には、伸縮取付管、ダクトスリーブ等を設置し、入線への抵抗力を減じようようにすること。
- (エ) 管路については、埋設後に電線類を入線するものであるため、内部に鉄屑やごみ等が混入しないように施工すること。
現場への積卸しは管材端部を損傷しないよう注意して行うこと。
- (オ) 管路の設置の際は、必要に応じて管枕(スペーサー)を用いて間隔が均一となるよう施工すること。既設埋設物等の状況によりやむを得ず所定の間隔を確保できない場合は、監督

職員の指示によるものとする。なお、管枕については、実使用量に基づき変更設計で追加するため、当初では計上していない。請負者が実使用量について資料を提出した場合、協議の上、変更設計で計上する。

(カ) 隣接する工事との施工時期の兼ね合いから先行管止めとなる箇所が発生することが想定される。先行管止めとなる箇所については管端キャップを設置するものとする。なお、管端キャップについては、実使用量に基づき変更設計で追加するため、当初では計上していない。請負者が実使用量について資料を提出した場合、協議の上、変更設計で計上する。

(キ) 導通試験等、電力・通信柵内部の作業については、「酸素欠乏症等防止規則」における「酸素欠乏危険作業」であるため、同規則に基づく「酸素欠乏危険作業主任者」を選任し、必要な措置を講じること。

10-12-5-3 プレキャストボックス工(特殊部)

柵の蓋には、監督職員が指示する内容を明示すること。内部においては、事前に監督職員の指示を受けた上で、管路に管種等がわかるように明示すること。

第23条 (その他の特記事項)

- 1 電線共同溝を既設地下占用物件に近接して設置する場合、関係事業者と立会し、必要な防護措置を講ずること。また、監督職員に關係企業者との協議内容を記載した立会調書を提出すること。
- 2 電線共同溝の柵内部においても、管路に入線種類がわかるように明示すること。
- 3 引込管路は、別途、電線管理者による工事を予定しており、同時施工となる場合は工事工程等の調整を密に行うこと。また、本工事で先行止めした管路の続きを電線管理者にて施工するため、先行止めの位置は正確に把握し、電線管理者の施工業者に引き継ぐこと。
- 4 電力柵のアース棒の設置については、電力系の電線管理者が行うため、施工時期等は事前に調整を行うこと。
- 5 その他については、監督職員の指示に従うこと。

機械特記仕様書

第 1 条. 適用範囲

本仕様書は、各溝路北ポンプに適用する。

第 2 条. 一般事項

- (1) 各機器は、本仕様書に示された仕様条件に対して十分な性能を発揮するのは勿論、耐久性、維持管理、安全性を考慮した構造とし、運転が確実で操作の容易なものでなければならない。
- (2) 機器の設計、製作にあたっては設計図面及び本仕様書によるものとする。
- (3) 本仕様書に特に定めていない事項については、監督員との打合せによるものとする。
- (4) 請負者は、工事施工にあたり諸法規を遵守しなければならない。
 - 1) 労働基準法
 - 2) 労働安全衛生法
 - 3) 建設業法
 - 4) 公害対策基本法
 - 5) 水質汚濁防止法
 - 6) 大気汚染防止法
 - 7) 悪臭防止法
 - 8) 下水道法
 - 9) 電気事業法
 - 10) 道路交通法
 - 11) 騒音規制法
 - 12) その他関係法例, 条件
- (5) 請負者は、工事施工にあたり諸規格に準拠しなければならない。
 - 1) 日本工業規格 (JIS)
 - 2) 日本電機工業会標準規格 (JME)
 - 3) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)
 - 4) その他関連の規格
- (6) 工事施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続は、監督員の承諾を得、請負者において迅速に処理するものとする。

第 3 条. 納品図書

- (1) 納品図書は、製作仕様書、外形図、構造図、据付図、電気結線図及びその他の必要

な図面より成り、必要部数提出するものとする。

- (2) 納品図書に修正があれば、その部分を明示した訂正納品図書を前記要領で再提出するものとする。

第4条. 検 査

製作工場において、ポンプは JIS B8301、JIS B8302 に基づき組立完成後に性能試験を行うものとする。

現地において試運転を実施し、正常な運転が行われていることを確認する。

第5条. 材料保管

工事の竣工まで機器、材料の保管の責任は請負者にあるものとする。

第6条. 保証期間

- (1) 機器の保証期間は、規定による引き渡しを受けた日から1箇年とする。
(2) 保証期間内に明らかに請負者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、請負者の責任において直ちに修理または取り替えをしなければならない。

第7条. 主な材料

(1) 溝路北1ポンプ

・渦巻ポンプ(陸上ポンプ)	1基
形 式 : GS02-406CE0.75	
口 径 : 40 mm	
吐 出 量 : 0.2 m ³ /分	
電動機出力 : 0.75 w	
・ガス管 (SGP) 白ねじ付き管 40A	0.9本
・SGP ねじ込み曲管 φ40mm、90° エルボ	6個
・SGPT 字管 (桁違いチーズ) 40×20	1個
・黄銅製ボールバルブ (10K) ネジ込み φ40mm、Tポート	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ40mm	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ20mm	1個
・マチノ式継手 φ20	1個
・ネジ込み鋳鉄製管継手 (白) 組フランジ 40AB・N	4組
・引込開閉器 (B300×H800×D200)	1基
・耐衝撃性硬質ビニル電線管 HIVE22mm	10m
・架橋ホリ絶縁ビニルケーブル 600V (CV) 3.5mm ² 3心	10m

(2) 溝路北2ポンプ

・渦巻ポンプ(陸上ポンプ)	1基
形式 : GS02-406CE0.75	
口径 : 40 mm	
吐出量 : 0.2 m ³ /分	
電動機出力 : 0.75 w	
・ガス管 (SGP) 白ねじ付き管 40A	0.9本
・SGP ねじ込み曲管 φ40mm、90° エルボ	6個
・SGP ねじ込み曲管 φ40mm、45° エルボ	1個
・SGPT 字管 (桁違いチーズ) 40×20	1個
・黄銅製ボールバルブ (10K) ネジ込み φ40mm、Tポート	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ40mm	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ20mm	1個
・マチノ式継手 φ20	1個
・ネジ込み鋳鉄製管継手 (白) 組フランジ 40AB・N	6組
・引込開閉器 (B300×H800×D200)	1基
・耐衝撃性硬質ビニル電線管 HIVE22mm	10m
・架橋ホリ絶縁ビニルシースケーブル 600V (CV) 3.5mm ² 3心	10m

(3) 溝路北3ポンプ

・渦巻ポンプ(陸上ポンプ)	1基
形式 : GS02-406CE0.75	
口径 : 40 mm	
吐出量 : 0.2 m ³ /分	
電動機出力 : 0.75 w	
・ガス管 (SGP) 白ねじ付き管 40A	0.8本
・SGP ねじ込み曲管 φ40mm、90° エルボ	7個
・SGPT 字管 (桁違いチーズ) 40×20	1個
・黄銅製ボールバルブ (10K) ネジ込み φ40mm、Tポート	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ40mm	1個
・黄銅製ボールバルブ 400型ネジ込み φ20mm	1個
・マチノ式継手 φ20	1個
・ネジ込み鋳鉄製管継手 (白) 組フランジ 40AB・N	4組
・引込開閉器 (B300×H800×D200)	1基
・耐衝撃性硬質ビニル電線管 HIVE22mm	10m
・架橋ホリ絶縁ビニルシースケーブル 600V (CV) 3.5mm ² 3心	10m

第8条. 据付工事

- (1) 本工事の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任を持って施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人など第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入・据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出のうえ監督員の指示を受けること。
- (4) 機器の据付
 - 1) アタッチメントを使用して既設着脱装置へ接続し、ポンプ装着の際は、吐出バンドのフランジ面に沿って確実に接続されること。
- (5) 配管工事
 - 1) 配管の接合は漏水がないように正確、確実に行うこと。
 - 2) 配管の固定は、堅ろうに取り付けること。

箇所図

国道171号

JR東海道新幹線

南区久世殿城町

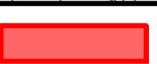
JR向日町駅

3・3・132 向日町上鳥羽線

3・5・183 牛ヶ瀬馬場線

(向日市)

行政界(京都市, 向日市)

 本業務委託箇所

